

23-03-15

列車と障害物の衝突脱線事故を想定した総合復旧訓練を実施

名古屋鉄道は、大雨により線路脇のり面から流入した土砂と運行中の列車との衝突脱線事故を想定した災害事故総合復旧訓練を、築港線 大江駅～東名古屋港駅間において3月24日に実施します。

この訓練は、脱線した列車にご乗車されているお客さまへのご案内・避難誘導や車両・施設の復旧作業の実践を通して、情報収集方法や復旧作業手順、現場の指揮命令系統などの確認と、災害復旧時の部署間協力体制の確立を目的に実施しており、今年で18回目です。

今回は、ドローンにより現場の被害状況を把握し安全を確認した上で復旧作業を実施するほか、乗客の避難誘導では、列車前面に非常梯子を設置し降車していただいた後、安全な場所に誘導を行います。

当日は、高崎裕樹(たかさき・ひろき)取締役社長、鈴木清美(すずき・きよみ)取締役副社長執行役員・鉄道事業本部長をはじめ、駅や運転現場の係員、土木・車両・電気部門の係員など、約200人が現地にて参加します。

詳細は下記のとおりです。

記

- 1 実施日 3月24日(金)
- 2 場 所 築港線 大江駅～東名古屋港駅間
(名古屋市港区)
- 3 訓練時間 開始:13時00分 終了:14時30分
- 4 訓練内容
 - (1) 通報(列車無線による)
 - (2) ドローンを使用した被害状況の確認
 - (3) 情報収集と指揮命令系統の確認
 - (4) 避難誘導
(車両搭載非常梯子を使用)
 - (5) 脱線復旧作業(油圧ジャッキを使用)
 - (6) 事故車両収容(ロコトラックによる)
 - (7) 軌道回路の復旧、架線点検(アクションカメラを使用)
 - (8) 軌道修正(タンパーバックホウを使用)

※内容は変更となる場合がありますのでご了承ください。



前回(2021年11月)実施の訓練の様子

以上